

# Leader's TOPICS

## 新型コロナウイルスの感染防止を考慮した環境活動

安全管理担当 濱辺謙吉



### ■ 1 私達の健康管理

私達が環境活動を行う場合、参加者全てが感染しないこと、感染させないことに十分な配慮が必要です。この感染症は無症状の感染者も他人に感染させることがあるので、私達はこれまで以上に日常の健康管理に気を付けなければなりません。

一般に、高齢者は加齢に伴って造血機能が低下し免疫細胞が減少するために免疫機能が下がると言われています。また、食道や鼻粘膜の保湿力も低下するため、ウイルスに感染し易くなるようです。感染を防ぐ切り札は自分自身の免疫機能です。免疫機能を向上させることは難しそうですが低下することを抑制することは可能です。そのためにはバランスのとれた食事、適度な運動、質の良い十分な睡眠、ストレスの解消が有効と言われています。

### ■ 2 環境活動の際に心得て欲しいこと

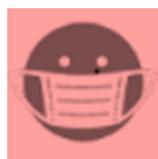


手洗い

(1) 事前に会場の運営責任者とコロナ対策について協議し、種々の対策が適切に実施されるように万全の対策を取ってください。会場の入口にはアルコール系消毒薬を必ず設置し、会場に入場する際は必ず

手を消毒するようにしてください。内容物が空にならないよう気を配ってください。後日、感染者との接触が疑われた場合、参加者に連絡できるように、可能であれば名前、電話番号、メールアドレス等を記録してください。この記録は他に漏れぬよう配慮してください。

(2) 各講師は活動当日に検温し、37.5℃以上の発熱、咳、倦怠感、味覚、臭覚等に異常が認められた場合は参加を取り止め、医療機関に相談してください。また、同居されているご家族等に同様の症状が認められた場合も参加を取り止めてください。



マスク

(3) 参加者は必ずマスク、できればサージカルマスク(フィルター効率が高い医療現場用マスク)を着用してください。サージカルマスクには表裏がありますので、正しく着用してください。

(4) 大声の会話、会場での飲食は避けてください。

(5) 終了後、参加者が手を触れたものは次亜塩素酸系の消毒薬を含ませた布等で、表面を消毒してください。

### ■ 3 屋内の活動で特に配慮して欲しいこと



密集回避

(1) 席次は参加者同士が少なくとも1メートル以上離れて着席できるよう定員を調節し、参加者が互いに向き合わないよう配席を工夫してください。参加者が多い場合は入替制にすることも検討してください。



換気

(2) 30分に1回程度の頻度で換気を行ってください。なお、エアコンディショナーは換気を伴いませんので注意してください。

【備考】講師の方々は、厚生省の「国民の皆様へ(新型コロナウイルス感染症)」を閲覧されることをお勧めします。  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431\\_00094.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00094.html)